



ぼらんていあ通信

2月号
通巻 No.471

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2021年2月25日
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/

ボランティア協会の今

「緊急事態宣言」



副会長 小野 明雄
おの あきお

「感染者数に二喜一憂しないで」といわれても、やはり感染者数が気になり、この先どうなるのか不安になります。

当協会では前回の宣言の時と同様に非常事態宣言の間の「事務局の閉鎖、ハンディキャップの運行と傾聴活動の休止を実施しました。公的施設の利用は閉鎖となりましたが、前回の対応での違いは各団体にとって必要な印刷機の利用が制限されなかったことです。

協会がサポーターとして参加している高齢者住まい探し相談会では、会場を「二丁目プラザから南区公民館会議室に変更して行われ、サポーターの参加の判断は「任せます」という連絡で、この相談事業は欠かすことができないものとなりました。ボラ協からはこの方がサポーターとして参加していただこうとしました。

ハンディキャップの休止に対して、利用者からは「死活問題」であり、この先利用できないのは不安との相談がありました。

何を基準に考えるかが問われますが、確かなのは活動の中で感染者が確認された場合は、すべての活動が停止し、その対応の責任が問われるという点です。ボランティアの立場で

は、活動休止はやむを得ないことと思えます。

「声かけ」「手助け」「ふれあい」は私たちの活動にとっては欠かすことができません。その全てが「密」となります。

緊急事態宣言が解除されても感染予防対策は続きます。今は体調を整えて、活動開始に力を発揮できるように準備しましょう。

講座検討委員会ではオンライン会議での会議開催に向けての学習講座を計画し、自らも実践し、DVD制作実行委員会もオンライン会議をしています。「つながる」方法も工夫が必要です。

こんな状況の中で「ぼらんていあ通信」が休むことなく発行され、会員の「つながり」を支えていただけていることにたいに感謝しています。この「通信」がさらに充実・発展することを願っています。



お詫言ひ

ぼらんていあ通信1月号ページの新年の「挨拶」の記事で、掲載間違いがありました。

*上段本文の訂正

(誤) 2121年

(正) 2021年

訂正してお詫言ひいたします。

理事の選出について

会員の皆様へ役員選出管理委員会からのお知らせです。当協会の次期理事定数7に対して、左記の7氏が立候補届を提出しました(五十音順)。

同封の「理事候補者の紹介」をご参照のうえ、投票をお願いします。

- 加藤 修 (留任)
- 渋谷 久美 (新任)
- 高橋 功 (留任)
- 恒藤 玲子 (新任)
- 西本 敬 (新任)
- 羽田 彌 (留任)
- 松原 俊 (新任)



なお、投票期間は2月中旬です。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言発令中で事務局閉鎖のため、郵送による投票をお願いいたします。締め切り厳守をお願いします。(FAXは不可・3月31日消印有効)。2021年2月吉日

役員選出管理委員会



おまかせください！家具転倒防止ボランティア



防止対策のポイント

- ①転倒・落下・移動防止対策はネジ止めが基本
最も確実な方法は、壁にL字型金具でネジ止めすること。ネジ止めが難しい場合は、「突っ張り棒とストッパー式」「突っ張り棒と粘着マット」を組み合わせると効果が高くなります。
- ②キャスター付き家具はロック。
- ③テーブルやイスは、移動防止対策が必須。粘着マット、カーペットの場合は滑り止め防止マットを設置。
- ④大きくゆっくりとした揺れが続く長周期地震振動に備えて、つり下げ式照明、鑑賞用水槽、ウォーターサーバーなど水をためる物は、適切な器具で対策を施す。
東京防災誌より

先日2月13日23時7分頃に起きた福島県沖地震は、福島県沖を震源として発生したマグニチュード7.3の地震であり、宮城県と福島県で最大震度の強を観測しました。

ケガをされた方も多く、全壊を認めた住家被害も多くみられました。近年の地震による負傷者の30～60%は家具類の転倒、落下、移動が原因だそうです。

ケガのリスクを低くするためにも、もう一度家中を点検することが大事ですね。

ボランティア協会では、『家具転倒防止ボランティア』を行っています。

障がいをお持ちの方や、高齢者の方々に、ぜひお声掛けください。

家具転倒防止ボランティア

相模原ボランティア協会では、地震に備えて家具の転倒防止活動を行っています。

- 対象：障がいや高齢のため、自分では家具転倒防止対策ができない人
- 内容：居間や寝室など、利用頻度の高い部屋の対策
- 費用：実費分は利用者負担（固定用針金や金具等）
- 連絡先：相模原ボランティア協会 電話 042-759-7982



3月の記念日は？

小倉義男

3月14日、数学の日。
 実用数学技能検定を主催する財団法人日本数学検定協会（数研財団）が、1997年に制定。円周率の日でもあることやアルベルト・アインシュタインの誕生日であることにちなむ。また、17世紀の数学者・物理学者のアイザック・ニュートンは、リンゴが木から落ちるのを見て万有引力の法則を発見したのは有名な話しですね。(o^^o)

小倉画



クイズに挑戦

ひらがな穴埋め5文字クイズです。ヒントを参考にうってきましてください。

- | | | |
|---|--|-----------|
| 1 | <input type="text"/> でどけ <input type="text"/> | じかん |
| 2 | お <input type="text"/> し <input type="text"/> ま | おしょうがつ |
| 3 | <input type="text"/> かなつ <input type="text"/> | かわやうみで |
| 4 | <input type="text"/> <input type="text"/> ぞ <input type="text"/> こ | ひやすほこ |
| 5 | <input type="text"/> ど <input type="text"/> し <input type="text"/> | のりもの |
| 6 | た <input type="text"/> ごや <input type="text"/> | りょうり |
| 7 | <input type="text"/> <input type="text"/> た <input type="text"/> ご | かんたんなりょうり |
| 8 | こ <input type="text"/> ち <input type="text"/> う | むしのこと |

このマークは？



障害者雇用支援マークです。公益財団法人ソーシャルサービス協会が「障害者の在宅障害者就労支援並びに障害者就労支援を認めた企業、団体」に対して付与する認証マークです。

市内活動グループ訪問記

オジャマ



もしも知りたい！
「銀河3世バンド」って
どんなバンド？
障害者週間キャンペーンに出演



2018年ほかほか
ふれあいフェスタ



2020年障害者キャンペーンにて

相模原市中央区高根にある県立相模原中央支援学校(小・中・高等部)の先生方で構成されている「銀河3世バンド」について、開校以来ずっとバンドを率いていらっしゃる渡辺先生に、メールでいろいろ質問して答えていただきました。

Q1、バンドを立ち上げるきっかけは何ですか？また、今年で何年目になり、バンドメンバーは何人くらいですか？

相模原中央支援学校が開校した10年前バンドの活動がスタートしました。それ以前から、他の職場でバンドを組んで活動していたので(当時の)新天地でも

新たに活動しようと思ったのです。一応、ポツリポツリとですが、毎年活動を続けて、今に至っています。2020年の12月のほかふれには10人で参加しましたが、いつも大体それくらいの人数で活動しています。



Q2、バンド名の由来と、特徴をお聞かせください。
銀河3世学校の近くには有名なJAXAがあり、宇宙や星に関するいろいろな話題を目にするのが多かったのですが、こちらあえす。

3世初期のリーダーに「ルパン3世のテーマ」があったので。
ミックスされたハイブリッドな感じをだすために、身近な言葉をつなげてみたら、こんな意味不明なバンド名になりました。

言い出しっぺの私がウクレレ弾きなので、「みんなウクレレを弾こう」という呼びかけで「バンドをやろう」という呼びかけが重なる形で、バンド活動を進めました。ウクレレが何人か、ドラムとベース、メロディ楽器、そして歌とメンバーを集め、バンドの形をとって演奏してきました。

バンド活動のかなり早い時期から、ほかふれにお声がかかっていたので、リーダーには歌謡曲が多いです。

Q3、どのような場所で活動されていますか？

今まで演奏させてもらったところは、相模原療育園、松が丘園、ワゲン長竹、ほかふれ(ウエルネス相模原の前)、ほかふれ(相模大野)です。校内でも演奏しますが、案外校内での演奏の機会は少ないです。

Q4、ずっと続けていられた「ひけつ」は何ですか？

以前、担任していた(元)生徒が相模原療育園に入所していて、その彼に会いに行くために毎年バンドで演奏しに行っています。その人と、知っている顔がどんどん増えて、ますます抜けられない感じになって、今に至っています。

Q5、渡辺先生が困っているところがありますか？
「コロナです。世間全体でも、歌舞音曲の類いは不要不急として軽視されていますが、私たちも、活動の場がほしくなっています。困っています。」

Q6、今後のバンド活動について夢はありますか？
継続は力なり、というわけでもありませんが、長く続けたものが勝つ(っ?)と思っています。会いたい顔があるから、そこに行くためにバンド活動もする、というようにしようか。

一昨年暮れのほかほかふれあフェスタ2019、また障害者週間キャンペーンでは、渡辺先生は準備の時から終わった後も、音響関係の器材を一人で片付けていらっやっています。

この頃は、ボランティア協会役員の高齢化と人手不足で困っているところ、先生がお手伝いくださり大変ありがたかったです。
演奏で私たちを楽しませてください。
(山崎)

*銀河3世バンド
代表 渡辺 賢



神奈川県立相模原中央支援学校
〒252-0221 相模原市中央区高根 1-5-36
電話番号：(042)768-8510

クイズの答え

1	うでどけい
2	おとしだま
3	さかなつり
4	れいぞうこ
5	じどうしゃ
6	たまごやき
7	ゆでたまご
8	こんちゅう

理事報告



※2月理事会は正副会長会議として開催。

1. 委員会報告

- ◆ 広報委員会・ほび通部会
- ◆ ほび通の月号は予定通りの日程で工夫して発行中。
- ◆ ハンディキャブ委員会
- ◆ 運行休止の対応を継続。
- ◆ 事務局委員会
- ◆ 事務局の閉鎖を継続。
- ◆ 講座検討委員会

- ◆ Zoomを使っての会議の進め方」の講座の案内発送。3月24日開催中。
- ◆ 傾聴委員会
- ◆ 活動休止の対応を継続。
- ◆ DVD制作実行委員会
- ◆ オンライン会議で内容を検討中。
- ◆ 役員選出管理委員会

2. 審議事項

- ◆ (1) 予算執行状況の確認と2021年度予算財源確保について検討。予算は従来通りの内容で策定するとして、財源確保については継続検討した。
- ◆ (2) 事業計画については、従来通りの活動内容とし、特別事業として「40周年記念誌」発行を計画中。

次回理事会 3月13日(土) 10時より

ボランティア協会と相模原市社会福祉協議会が協働で講座を開催します

春の講座

～ オンライン会議の実際を学ぶ！ ～

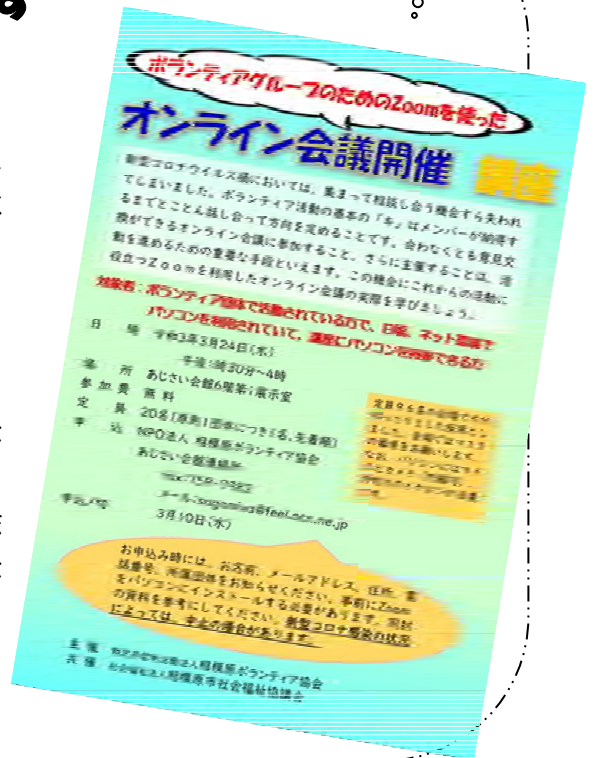
福祉活動においては、メンバー同士の話し合いが円滑にできることが必要です。新型コロナウイルス禍では、集まっての相談などは難しくなっています。

そこで、集まらなくてもオンラインで会議ができるように、Zoom（ズーム）の利用方法についての講座を企画しました（Zoomとはオンライン会議を行うためのソフトウェアです）。

この講座は、感染症対策をしっかりと行い、大きな会場を利用しながらも、参加者を絞り込んで、小規模で開催予定です。

まずは、福祉関係ボランティア団体の皆さんを対象に、実際に会議を自ら主催できるまでのスキルアップを目標としての開催となります。

3月24日（水）に開催予定ですので、講座の様子はぼらんていあ通信4月号で詳しくお届けします。



オンラインミーティング

ボランティア協会もZoomで委員会を開催しています！

再度の緊急事態宣言により、事務局は閉鎖、ハンディキャブの運行と傾聴活動も休止していますが、講座検討委員会もDVD制作実行委員会もZoomによるオンライン会議により事業を進めています。

相模原市社会福祉協議会の井上さんにも参加いただき、春の講座の打ち合わせミーティングを



会員のひろば



ボランティア活動に参加して!

舟橋 浩



様々な活動をなさっている会員の皆さんに、活動の紹介や、趣味などを自由に語っていただくコーナーです。

仕事の関係で岐阜、山梨、山口、神奈川と寛えているだけでも十数回引越しを繰り返してきた社会人人生も終わりの、終の棲家はどこにしようかと迷った末に、次男の家にはほど近い橋本に決めて引越してきて10年余り。地元知り合いもいない中で先ず初めに入会したのは趣味の写真倶楽部、その次は家内が散歩の途中で声をかけられたのをきっかけに入会したグラウンドゴルフ、運動不足解消には少し物足りなかつたですが、週に2日の練習日が楽しみになるくらい熱心に参加しています(今はコロナ禍で休止中ですが)。

趣味の方はこの2つのクラブでお友達も出来、楽しんでいますが、家内から「遊んでばかりでは世の中に申し訳ないのよ、ボランティア活動に参加して、お世話になった恩返しを少しでもしたらどうですか。」の一言で一念発起して広報誌に記載されていたボランティア活動の中から、運動するのが好きだったこともあって、「ハンディーキャンプ」活動についてボランティア協会の問い合わせをし、まずは資格を取りなすべく、2日間の実地講習を受けました。

初めての活動はいつも緊張しましたが、先輩の方(中野さん)にも親切にお教えいただき、何とか無事に運行する事が出来ました。その後月に4〜5回の運行をこなしています。最初は相模原の道に不案内で迷惑をお掛けしましたが、カーナビのお送りのおかげで道案内で何らかし時間内に自宅までお送り出先から自宅までお送りのサービスが出来ています。

私は心配性のせいかわ、必ず前の日まで下見をします。最近のカーナビはとも進んでおり、住所も電話番号が解っていればかなりの精度でたどり着けますが、病院など公共の施設と違って個人の自宅は近くまで行くと案内を終了します。なにより終わってしまってもしばしばなので、前もって下見をいっしょに自宅をしっかりと確認しておくことが、当日心に余裕をもって活動する事が出来ます。

私も今年の12月には80歳になり、「ハンディーキャンプ」ボランティアの定年を迎えます。昨年、今年と新型コロナウイルスの感染拡大で活動が休止になり、あまりお役に立てていませんが、残された時間の中でお役に立ちたいと思い自家用車をつかった除菌・清掃して再開を待つことにしています。

「コロナの影響で趣味の写真撮影も、グラウンドゴルフも出来ずに散歩と新聞としてラジオを聴きながら早弁の生活に戻れないかな」と心待ちにしています。



こんな記事が!

新型コロナウイルスの感染拡大で、視覚障害者の生活に困ることが増えているようだ。感染予防のため人との接触や会話が減る中、他者との距離感がつかみづらくなり、援助も頼みにくくなっている。

スーパーやドラッグストアに行くと、まず直面するのが消毒スプレースプレーの場所探し。マスクをしていても相手が飛沫を気にしないか心配で、助けを求めるとをちゅうちよしてしまう。レジ前の行列にも困る。周りの人とソーシャルディスタンスを保つための床の印が見えない。しかし前と後ろに1.2メートルずつ間隔を取ると、列が進んでいるのかどうか分からなくなった。そんなときに助かるのが周囲の声掛けだ。「手伝いましょうか」「前に進んだよ」。手を引いて誘導してもらうのもサポートになるそうです。

中国新聞デジタル版より



相模原ボランティア協会 3月の予定

日	時間	内容
1(月)		役員選出投票受付開始～ ×切3/31
10(水)	13:00～	広報委員会・ぼら通部会
13(土)	10:00～	定例理事会
13(土)	13:00～	事務局委員会
22(月)	13:00～	ぼら通3月号印刷
23(火)	13:00～	ぼら通3月号発行
24(水)	12:30～	講座検討委員会
24(水)	13:30～	講座「Zoom を使った会議の進め方」

☆在宅生活の「エピソード」を大大募集！



緊急事態宣言が発令され「ボランティアをしたいのにできない…」もどかしい日々が続いています。そんな時は皆でエピソードを共有し、元気になりましょう！

「ステイホーム、こんな風に過ごしています」や「在宅生活を楽しく過ごすためのアイデア」、「素敵な手作りマスクの写真」などをお寄せください。

ボランティア活動を必要とする方々に向けたメッセージや他の活動者さんへのエールなども大歓迎です！電話・メールなど、どの方法でも結構です。たくさんのご応募をお待ちしています(^_^)



※いただいたエピソードは、いるかバンク通信や相模原市社協 SNS などでご紹介します！
 (掲載の場合は、事前にご連絡します)
 ※メールの場合は、エピソードとともに、お名前と連絡先をお送りください。(お名前・連絡先は連絡用で外部には公開しません)

連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042 (786) 6181

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



山口尚美画

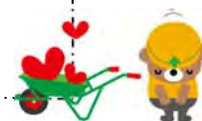
《今月のイラスト
 ……たまにはおしゃべりを！》

お願い

会員登録について

例年では次年度の会員登録を3月1日から始めておりますが、今年度は準備の都合で4月1日からごまかせていただきます。
 ぼらんていあ通信の月号ご手続きのご案内を掲載いたします。
 よろしくお願いたします。

事務局



編集後記

今年の節分は2月2日で124年ぶりとニュースで流れていました。節分用にと『津久井大豆福豆』を買いました。
 当日、何処へしまい込んだのか探しても見つかりません。買ったつもりのお違いか。他の豆を代用して「福は内、鬼は外」
 数日後、豆が見つかりました。
 今年、我家に福は来るのでしょうか？

(小)

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<1月の寄付者>

3名の皆様からご寄付をいただきました。

<1月の寄付金>

総額 4,360 円でした。